



防災への関心が高まる中、地域の防災訓練やいろいろな防災講座があります。皆さん積極的に参加していただけますか？

なんとなく防災と聞くと、難しく堅いイメージですね。でも、私たちの暮らしの中には、たくさんの防災アクション（災害に対する備え）があります。

災害時には、何よりもご近所同士の協力が必要になります。避難生活となった時も、日頃からあいさつを交わしたり、防災訓練に参加して、ご近所とのお付き合いの輪を広げておくことで、スムーズに過ごすことができるようになります。

また、防災講座で過去の災害から教訓を学ぶことも備えの一つです。それぞれの地域の実情に合わせて、互いに協力し合い、考え、備えていくことで、地域のコミュニケーション力、防災力が高まり、それが『災害に強いまち蒲郡』へと繋がっていきます。

〈想像してみよう〉
そのとき、あなたはこうする

もしも、阪神淡路大震災と同じように、厳冬のまだ暗い早朝に大地震が起きたら：

あなたは、自分や家族が被災者になることを真剣に考えたことがありますか？

- ・身を守る安全な場所はどこ？
- ・家具や家電はどうなる？
- ・寝ていたらどうしよう？
- ・大切なペットはどうなるの？

あなたには、準備ができていますか？実際に家の中を確認してみましょう。たとえば、

- ・丈夫なテーブルの下は安全！
- ・大きな家具は凶器！固定しよう
- ・枕元にスリッパや懐中電灯！
- ・ペットのゲージや写真、フードも人と同じように備蓄！

災害に対する意識を新たに、備えを見直す。

【さあ、今やろう！】

防災アクション！

石のおじさんと旅した 「地球のたからもの」

皆さんも「鉱物」という言葉を一度は耳にしたことがありますよね。ご存知の方の頭には、透き通った美しい結晶の姿が描かれているかもしれません。鉱物は、天然に産する化学物質のカタマリです。均質で一定の化学組成を持ち、多くのものは結晶として現れます。水晶のように透明なものもあれば、金属でできた不透明なものもあり、世界全体で5千種ほどが知られています。

蒲郡では、1月の誕生石としても知られる、ガーネットという鉱物が見つかります。寶石として数千年の歴史があり、独特の美しい形から、最初の月の誕生石に選ばれたといわれています。ガーネットは、つぶつぶの結晶がたくさん集まって見つかることが多く、その様子がまるで熟れたザクロの実のように見えるために、ザクロ石とも呼ばれます。実はガーネットという名前にも似た意味があり、ラテン語で「種子を意味する "granatum"」がその由来となっています。説があります。生命の海科学館では、現在ミニ企画展「石のおじさんのたからもの

の「鉱物」を開催しています。鉱物や化石などの標本とともに各地で人々を喜ばせ、三谷の石のおじさんと呼ばれていた故・小田勲さん。ご本人とご遺族から市に寄贈していただいた数々の標本から、選りすぐりの鉱物標本を展示しています。地球が生み出す宝物である美しい鉱物をぜひご覧ください。



ガーネット

生命の海から

学芸員 松本万尋

生命の海科学館
☎ 66♦1717